

1974～1975

竹野ガバナー公式訪問報告書



鹿児島西ロータリークラブ

1974.9.18

目 次

クラブ協議会プログラム	1
役員並びに委員名簿	2
会長報告	3
幹事報告	4
会計報告	6
クラブ奉仕報告	6
出席委員会報告	7
職業分類委員会報告	9
会員選考委員会報告	10
会員増強委員会報告	10
プログラム委員会報告	11
広報委員会報告	12
親睦活動委員会報告	13
ロータリー情報委員会報告	14
会報・雑誌委員会報告	15
S・A・A報告	16
職業奉仕委員会報告	16
社会奉仕委員会報告	17
青少年奉仕委員会報告	18
国際奉仕委員会報告	19
ロータリー財団委員会報告	20

附 表

昭和49年度予算書	22
会員名簿	26

充填・未充填職業分類一覧表（別冊）

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と 友情を 深めるか
4. みんなのために なるか どうか

ロータリー綱領

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成するにある。

1. 奉仕の機会として知り合いを拓めること；
2. 実業及び、専門職業の道徳的水準を高めること；
あらゆる有用な職業は、尊重されるべきであると云う認識を深めること；
そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活及び、社会生活に常に、奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と、専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

1974 ~ 1975年度

国際ロータリー会長 メッセージ

RENEW THE SPIRIT OF ROTARY

ロータリーの精神を振り起こせ

- 人を作ることによって
- 優秀な会員をふやすことによって
- 新しいクラブを結成することによって
- 青少年と共に働くことによって
- あなた自身の平和への道を進むことによって
- われわれのあらゆる行動にロータリーを、生かすことによって
- 親しく地域社会と、かかわることによって

ウィリアム R, ロビンズ

1974年度 国際ロータリー会長

クラブ協議会プログラム

1974 9 18

於 鶴鳴館

17:30~17:31	開 会 の 辞	副 会 長	福 田 敏 之
17:31~17:34	国歌君が代・ロータリーソング	(奉仕の理想)	斉唱
17:34~17:40	歓迎の辞及びガバナー紹介	会 長	新 福 栄 熊
17:40~17:45	ガバナー挨拶	ガバナー	竹 野 融
17:45~17:55	会 員 自 己 紹 介		
17:55~	会 長 報 告	会 長	新 福 栄 熊
	幹 事 報 告	幹 事	小 山 幸 義
	会 計 報 告	会 計	池 田 稔
	クラブサービス報告	会 務 担 当	福 田 敏 之
	出席委員会報告	委 員 長	下 野 隆 三
	職業分類委員会報告	〃	安 楽 慶 一 郎
	会員選考委員会報告	〃	久 保 政 次
	会員増強委員会報告	〃	若 松 宇 治 彦
	プログラム委員会報告	〃	岡 山 栄
	広報委員会報告	〃	岩 元 基
	親睦活動委員会報告	〃	水 淵 清 治
	ロータリー情報委員会報告	〃	宇 治 野 純 章
	会報・雑誌委員会報告	〃	鍋 島 宏
	S・A・A・報告	S・A・A	木 治 屋 克 己
	職業奉仕委員会報告	委 員 長	福 田 正 臣
	社会奉仕委員会報告	〃	原 三 郎
	青少年奉仕委員会報告	〃	永 井 利 承
	国際奉仕委員会報告	〃	古 木 圭 介
	ロータリー財団委員会報告	〃	牧 田 健 二
	講 評	ガバナー	竹 野 融
19:30	閉 会 の 辞	幹 事	小 山 幸 義
	懇 談 食 事		
	ロータリーソング (手に手つないで)		斉唱

鹿兒島西ロータリークラブ・役員・理事・委員会名簿

1974・7～1975・6

会 長 (理事)	新 福 栄 熊						
副 会 長 (〃)	福 田 敏 之 (クラブ奉仕)						
幹 事	小 山 幸 義						
副 幹 事	池 田 広						
理 事	福 田 正 臣 (職業奉仕)						
	原 三 郎 (社会奉仕)						
	永 井 利 承 (青少年奉仕)						
	古 木 圭 介 (国際奉仕)						
	池 田 稔 (会 計)						
	S・A・A	木 治 屋 克 巳					
	副 S・A・A	中 尾 正 昭					
出 席	◎下野 隆三	○坂口 洋右	山下 静雄	城 哲男			
職 業 分 類	◎安楽慶一郎	○池口 恵観	岩元 健吉	徳田 基	川村 洋		
会 員 選 考	◎久保 政次	○浜田 馨	岡元健一郎	久保田彦穂	前田 好文		
会 員 増 強	◎若松宇治彦	○高井 敏治	塘 一郎	佐伯延次郎	内山 光男		
		桜美 義明					
プ ロ グ ラ ム	◎岡山 栄	○島津 忠丸	田平 礼章	林 幸光	高 義朗		
		徳家 孝					
広 報	◎岩元 基	○中村 善治	河井 時義	外西 寿彦	直居 栄一		
観 望	◎水淵 清治	○瀬戸山京巳	渡辺 匡	小園 正人	川田 恵一		
		有村 良男	川畑 正美	三原 一馬			
ロータリー情報	◎宇治野純章	○土橋 英夫	徳沢 紀生	岩男 秀彦	小池鉄太郎		
会 報 雑 誌	◎鍋島 宏	○藤安 辰造	三角桂次郎	久我 康博			
職 業 奉 仕	◎福田 正臣	○徳留 栄次	接美 四郎	岩田 太一	山本 友博		
社 会 奉 仕	◎原 三郎	○青田 郁男	岩元 正二	鮫島志芽太	川上鉄太郎		
		海老原利則					
青 少 年 奉 仕	◎永井 利承	○新原 剛	柴山 一雄	光吉 正昭	佐伯 寿郎		
(インターアクト)		岩元 紀彦					
ローターアクト							
国 際 奉 仕	◎古木 圭介	○和田 吉人	中村 俊雄	ジョンズ・ミツチェル			
		平岡 禎吉					
ロータリー賞推薦	◎福田 敏之	○原 三郎	岩元 基	福田 正臣	岡山 栄		
		鍋島 宏					
ロータリー財団委員長	牧田健二						

◎ = 委員長 ○ = 副委員長

会 長 報 告

会 長 新 福 栄 熊

1974～1975 RI会長ウィリアム Rロビンズ氏のターゲットは
“RENEW THE SPIRIT OF ROTARY”

：ロータリーの精神を振るい起こせ：

である。本年度の第373地区ガバナー竹野融氏もRI会長の方針をふまえて、ロータリアン各自が自分の最善を尽くすことが大切であると指示された。

もっと具体的に述べると、ロータリーの力はロータリアン一人一人が、他人のために尽くすという奉仕の理想に自らを献げることから生まれてくるのであって、これがロータリーの精神である。ロータリーの仕事は、何よりも先ず責任を持ち義務を果たすという理想をもった人を作ることである。人を作ることによってロータリーの精神を振るい起こさねばならぬということである。

そこでRENEW THE SPIRIT OF ROTARYをふまえて本年度は次の点に重点をおいて運営してみたいと思う。

- (1) すべての委員会はRI会長のターゲットを中心にマンネリズムに陥らないようロータリー精神を振るい起こして奉仕活動を推進する。
- (2) 本年度は益々明るく楽しいクラブであるように会員の親睦・和が一層深められるよう工夫努力したい。
会員の員数は常に80人位を目途にする。
- (3) 鹿児島西RCの外部拡大としての仕事は過去において先輩の努力により、インターアクト結成（鶴丸高校・鹿児島高等学校）、RC結成（加治木RC、加世田RC、枕崎RC）等優れた業績が残っているが、これらのインターアクト、RCと更に親密な手を握りあって、一層強力なロータリー精神を振るい起こすよう努力したい。

しかし以上のことはどうしても、会員皆様方のお力添えがなければできないことではない。何卒会員全員の温い限りなき、御指導御協力の程をお願い致したい。

幹 事 報 告

廣 東 醫 生 會

幹 事 小 山 幸 義

我がクラブも11年目に入り、いよいよ成人期を迎えてまいりました。クラブ創立以来の良き伝統である家庭的な和やかさを基礎に、より充実した奉仕活動を展開して、次なる10年へ邁進して行きたいと思っております。

（以下は非常に薄い文字で印刷された、ほとんど読めない内容の文章が続きます。これは原文の複製ミスや極度の薄さによるものです。）

ク ラ ブ 概 況

1. 創 立 年 月 日	昭和38年3月23日
2. 承 日	昭和38年6月27日
3. チャーターメンバー	25名 (内現会員12名)
4. 本年度当初会員数	75名
	退 会 者 2名
	入 会 者 5名
5. 現 在 会 員 数	正 会 員 61名
	シニア・アクチブ会員 17名
	パストサービス会員 0名
	アディショナル会員 0名
	計 78名
6. 平 均 年 令	53.8才 (最高79才 最低27才)
	20才台 2名 30才台 5名
	40才台 22名 50才台 21名
	60才台 19名 70才台 9名
7. 出 席 率	98.46% (49年7月～49年8月)
8. 予 算	末尾の通り
9. 入 会 金	25,000円
10. 年 会 費	88,000円
11. ビジター会食費	800円
12. 会 報	週報を毎週発行
13. ガバナー月信	19名購読
14. ロータリアン誌	3名購読
15. クラブアッセンブリー	年 5 回
16. クラブフォーラム	年 4 回

17. 炉 辺 会 合 年 3 回
18. 理 事 会 定例理事会 毎月第2例会後開催
 臨時理事会 必要に応じ適時開催
19. 委 員 長 会 年 6 回
20. 県下B・C会長幹事会 年2回輪番で開催し、意見の交換を行なう。

会 計 報 告

会 計 池 田 稔

基 本 方 針

昭和49年度収支予算書に従い正確に又誠実に実施してゆきたい。

計 画

ニコニコBOXの寄附金の活用その増大を期待したい。

ク ラ ブ 奉 仕

副会長 福 田 敏 之

基 本 方 針

- ① クラブ奉仕の各委員会と緊密な連絡をとりながら、効果的な奉仕活動ができるように調整、監督し、助言する。
- ② 会員の親密な結合と融和をはかる。
- ③ 本年度の目標“ロータリーの精神を振るいおこせ”の方針をふまえて、ロータリアン各自が奉仕の理想の精神を十分に理解して、実践的奉仕ができるように、各委員会と協力する。
- ④ 会員の増強（80名を目標として、確保してゆく）

計 画

- ① クラブ奉仕各委員会長会議を月一回開催し、各委員会が相互に緊密に連絡をとりながら円滑に行動できるように留意する。各委員会の意見は理事會にて調整検討して決定したものは直ちに行動に移す。
- ② 年度計画表を幹事と協議の上作成し、各委員長に配布して、円滑なクラブ運営をはかりたい。
- ③ プログラム委員会は年間プログラム案を作成し、委員長会議で充分検討して魅力のあるプログラムを作成する。
- ④ 内部広報の充実
- ⑤ 炉辺会合を年三回開催して、会員のロータリーの奉仕活動を協議するとともに親睦を深める。

業 績

- ① 基本方針計画に沿って、各委員長会議の開催、年度計画表の作成、炉辺会合を開催して会員増強、出席を中心に奉仕活動のあり方、進め方について協議し併せて親睦を深めた。

出席委員会報告

委員長 下野隆三

委員 坂口洋右

山下静雄

城哲男

基本方針

本クラブの誇りある伝統である輝かしい出席率の維持に努力する。又上級各種会合への出席を奨励したい。

計 画

- (1) 連続出席者に対する表彰を本年度も引続き実施する。
- (2) 常に出席率を把握し、欠席者への連絡を密にする
- (3) 新入会員へのP・Rを行ない、出席を奨励したい。

業 績

塘前分区代理の出席に関するパンフレットを新に作成し新入会員に配布して出席への協力を要請した

本年度7・8月中の出席成績別紙の通りです。

49年度例会出席状況

(7・8月分)

回数	例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	メイクアップ	訂正率	ゲスト	ビジター
571	7.4	79	56	23	70.89	23	100	0	24
572	7.11	79	59	20	74.65	19	98.73	0	25
573	7.18	79	57	22	72.15	22	100	1	24
574	7.25	78	51	27	65.38	24	96.15	1	12
4回	計	315	223	92	283.07	88	394.88	2	85
	平均	78.7	55.7	23	70.77	22	98.72	0.5	21.2
575	8.1	78	59	19	75.64	16	96.15	0	43
576	8.8	78	56	22	71.79	21	98.72	1	14
577	8.12	77	53	24	69.23	22	97.40	4	5
578	8.22	78	50	28	64.10	28	100	1	22
579	8.29	77	62	15	80.52	14	98.70	2	29
5回	計	388	280	108	361.28	101	490.97	8	113
	平均	77.6	56	21.6	72.26	20.2	98.19	1.6	22.6

職業分類委員会報告

委員長	安 楽 慶一郎
委員	池 口 恵 観
	岩 元 健 吉
	徳 田 基
	川 村 洋

基本方針

- (1) 当クラブ区域の職業分類調査を行なう。
- (2) 充填、未充填の職業分類一覧表を作る。
- (3) 未充填区分については、その充填に会員の協力を求める。

計 画

- (1) 委員会の年次計画次のとおり
区域内分類調査（7月）分類一覧表（8月）未充填の表作成（9月）
- (2) 未充填の表を、例会場に掲示するとともに一覧表を全会員に配布する。
- (3) 会員選考・会員増強委員会は勿論、全会員にもアピールして会員総数の6%増強充填に努めたい。

業 績

- (1) 8月に分類表を作成した。
- (2) 新入会員5名の検討を行った。

会 員 選 考 委 員 会 報 告

委員長	久 保 政 次
委 員	浜 田 馨
	岡 元 健一郎
	久保田 彦 穂
	前 田 好 文

基 本 方 針

優秀な会員をふやしていくという観点からともすれば受身になりやすい立場から脱却し、会員増強、職業分類の委員会とは特に連絡を密にし、ロータリアンにふさわしい人材の選考にあたりたい。選考にあたっては特に出席の可能性を重視したい。

計 画

本年度は約8名くらいの増加を考慮している。

業 績

- (1) 新入会員として5名選考した。

会 員 増 強 委 員 会 報 告

委員長	若 松 宇治彦
委 員	高 井 敏 治
	塘 一 郎
	佐 伯 延次郎
	内 山 光 男
	桜 美 義 明

基 本 方 針

R・Cの会員の質と、相互親睦の観点からして会員はその数80名位を一応の基準と考えている。

計 画

よって本R Cでは年間の退会者7～8名を予想して、会員の新加入も考えながら最終的には80名位をメドと考えている。

本年度は年度始めに75名の会員であったが、現在78名である。

プログラム委員会報告

委員長	岡	山	栄
	島	津	忠丸
	田	平	礼章
	林		幸光
	高		義朗
	徳	家	孝

基本方針

- (1) 例会がロータリーの奉仕活動にふさわしいものとなるようにプログラムを組立てたい。
- (2) プログラムの内容は、ロータリーの理解と活動に少しでも役立ち、会員親睦をより深める様に配慮したい。

計 画

- (1) 会長、幹事及び各委員会のご協力を得て、奉仕活動やその解説等についてのプログラムを増やしたい。
- (2) 会員特に新会員の職業、趣味、経験等の紹介をより多くお願いしたい。
- (3) 会員のアドバイスを受けて、広く地域社会を知り、より楽しい例会となるような卓話の開発に努める。

業 績

卓話の実績は次のとおりである。

卓 話 の 実 績

月 日	題 目	卓 話 者	備 考
7 4			クラブ協議会
	11		決算報告及予算審議
18	接吻と人間関係について	鹿児島市立病院 事務 長 藤 山 良 弘	
25	わたしのオーストラリア訪問	鹿児島市商工水産課 課 長 松 下 一 男	
8 1			ファイヤ・サイド ミーティング
8	「健全な青少年」 についての考え方	鹿児島県民局長 内 田 正	
12	ローターアクトクラブの近況報告 インターアクト	青少年 奉仕委員会	
22	桜島火山について	鹿児島地方气象台 観 測 課 長 木 下 正 時	
29	東南アジアの旅	会 員 土 橋 英 夫	
9 5			クラブ協議会

広 報 委 員 会 報 告

委員長 岩 元 基
 委員 中 村 善 治
 河 井 時 義
 外 西 寿 彦
 直 居 栄 一

基 本 方 針

ロータリー精神とクラブ活動の情報を一般の人々に提供しロータリーに対する社会の認識と理解を深めるよう立案実行する。

計 画

地域社会への広報活動に重点を置き、マスコミに積極的に働きかけ、ロー

タリーの精神と活動を一般市民の方々に広く理解していただくよう努力する。

業 績

7月19日市内4クラブと合同でNHK及び地元民間報道機関との懇談会を開き、ロータリーの精神、目的、年間を通じての活動及び行事を詳細に説明し広報活動への協力を要請した。

親 睦 委 員 会 報 告

委員長	水 淵 清 治
委員	瀬戸山 克 己
	渡 辺 匡
	小 園 正 人
	川 田 恵 一
	川 畑 正 美
	三 原 一 馬

基 本 方 針

ロータリーの初心は親睦から奉仕へと発展します。例会の出席によって、より多くのロータリアンを知り、ロータリアン同志の親睦を深める。

これより、奉仕の場を得ることになります。

計 画

1. 例会場への創意工夫を計る。
 - (イ) 委員会別に席を指定する。
 - (ロ) 新入会員と他クラブの例会出席者へ席を指定する。
 - (ハ) 会員の趣味別に席を指定する。
2. 各委員会との連絡を密にする。
3. 委員間の親密な結合、融和を計る。
4. 家族ぐるみの小旅行、家族会。
5. 婦人のつどい。

業 績

計画 1) 例会場の創意工夫を計る

S A A と毎週会合を持ち実行可能な事柄から具体的に準備中です。

イ) 全会員の名札作成中。

ロ) 計画に準じグループ別名札作成中。

計画 4) 家族会

観月家族会準備の為委員会 (S A A と合同) を開き具体的打合せを終り目下準備中。

計画 5) 婦人のつどい

婦人のつどいの会の会則等を婦人自身の手で働き作成して頂きなるべく9月中にでも会合を開いて頂く様準備中。

ロータリー情報委員会報告

委員長	宇治野	純	章
委員	土橋	英夫	
	徳沢	紀生	
	岩男	秀彦	
	小池	鉄太郎	

基本方針

- (1) 新入会員にロータリーの目的ロータリアンとしての特典、義務を理解させる。
- (2) 会員に、ロータリーの歴史、綱領及び活動についての知識を与える。
- (3) 会員に国際ロータリーの運営方法について知らせる。

計画

- (1) 新入会員に対し、特に入会時の個別指導を行なう。
- (2) ロータリーについての勉強会を行なう。
- (3) 新入会員を、各委員会の炉辺会合に出席するよう指導する。
- (4) ロータリー関係の情報を週報に掲載して会員のロータリーに関する知識

を深める。

業 績

新入会員計五名に対し、入会に際しての個別指導を実施済。

会報雑誌委員会報告

委員長	鍋 島 宏
委員	藤 安 辰 造
	三 角 桂次郎
	久 我 康 博

基 本 方 針

- (1) 週報編集の十分な準備
- (2) 週報を通じ、会員の心の交流を計り、親睦を増進し会員の増強を促進する。
- (3) 次週例会のプログラムの案内を記事にし、週報にのせる。

計 画

- (1) 前例会のプログラムの記事を週報にのせる。
- (2) ロータリアンが会報を通じ、興味を持ち、出席率を高める様内容を充実させる。
- (3) 欠席者の週報を会員に送付してでも各人に届ける。
- (4) ロータリーの友への投稿。

業 績

計画を忠実に実行に移しよりよき会報雑誌の業績をつくっています。

S A A 報 告

委員長 木治屋 克己
副SAA 中尾 正昭

基 本 方 針

- (1) 西クラブ独特の明るくなごやかな例会場の雰囲気をも更に一段と盛り上げるよう努力する。特に来訪者、外国や県外、新入会員の方々に細心の注意をはらい接待すること。
- (2) ニコニコボックスの増収を計る。

計 画

- (1) 座席の配置の工夫をしたりロータリーソング以外の歌や四季の花等で更に雰囲気を和らげるよう努力する。
- (2) 親睦委員会ならびに委員長との会談を毎週行ない会合での親睦を計る。
- (3) ニコニコボックスの増収については親睦委員会や会員のみなさんから小さな情報でも提供をお願いし増収に努力する。

業 績

- (1) 毎月始めの例会日は特に座席の配置換えを行ったり四季の花々を飾ったり好評の握手をつづけたりして雰囲気づくりに努力している。
- (2) 親睦委員会及び委員長との会談を毎週実施している。
- (3) ニコニコボックスについては新聞ラジオテレビや会員のみなさんからどんな小さな情報でも提供をお願いし増収に努力している。

職 業 奉 仕 委 員 会 報 告

委員長 福 田 正 臣
委 員 徳 留 栄 次
桜 美 四 郎
岩 田 太 一
山 本 友 博

基本方針

国の内外を問わずめまぐるしく変動し とかくエコノミックに傾きがちな現代、吾々ロータリアンは今こそ信念を固くし、ロータリー精神の中核とも言うべき「職業奉仕」の正しい理念に今一度立ち返って、真剣に考え勇敢に行動しなければならない。

計 画

A) 会員を対象としての活動として。

- (1) 職場を訪問して見聞を広めたい。
- (2) 職業奉仕、ということについて、会員各位の御意見（御希望や御批判）をきく機会を持ちたい。

B) 会員以外の人々に対する活動として。

ローターアクトやインターアクトの会員や、その他職業人となって日の浅い青年や、近く学窓を巣立って職業人となる学生達に対して、職業奉仕の正しいあり方について指導的立場で話をし、懇談したい。

社会奉仕委員会報告

委員長	原	三郎
委員	有田	郁男
	岩元	正二
	鮫島	志芽太
	川上	鉄太郎
	海老原	利則

基本方針

鹿児島市を住み良い都市とする様に関係諸団体や、当クラブの各委員会と連絡を密にして、地域社会に於ける問題点を調査研究し当クラブが、地域社会に対する責務を果す様奉仕活動を推進する。

計 画

1. 交通安全、火災防止運動への協力、援助
2. 心身障害児等の救済運動への協力、援助
3. 老人ホーム等施設への援助
4. 老人病対策研究機関への援助
5. 非行少年補助活動への援助
6. ロータリー賞の継続

業 績

1. 委員会を開催し、且つ書類で以て、計画及び予算について通知し、具体策を検討中にて、関係諸団体について検討中。
2. 現在まで実績はありません。

青少年奉仕委員会報告

(ローターアクト
インターアクト

委員長	永井利承
委員	新原剛
	柴山一雄
	光吉正昭
	佐伯寿郎
	岩元紀彦

基本方針

ロータリーの活動を通じ、青少年との交流を計り、青少年が健全なる成長をするよう、之を援助する。

計 画

- (1) インターアクトクラブと緊密に連絡をとり、年度内行事を企画し援助する。
- (2) ローターアクトクラブの例会に出席して、その希望に沿う企画を援助する。
- (3) インターアクト、ローターアクトと交換学生、留学生との交流を計り、

親睦と理解を深めたい。

業 績

- (1) 第10回インターアクト年次大会を積極的に協力して、出席し、成功させた。
- (2) 第3回ローターアクト年次大会の開催準備に際し、その企画を援助した。
- (3) 8月1日のファイヤ、サイド、ミーティングで、活発な意見を交換して、2、3の具体的計画を計定した。
- (4) 加治木ロータリークラブに、インターアクトクラブ結成、助言のため、出席した。

国際奉仕委員会報告

委員長	古 木 圭 介
委員	和 田 吉 人
	中 村 俊 雄
	ジョーンズ・ミッチェル
	平 岡 禎 吉

基 本 方 針

会員の世界的親交によって、国際間の理解と、親善と平和を推進するため努める。

計 画

- (1) 市内3R、C合同で交換学生を受け入れる。
- (2) 留学生を例会に招待し、会員との親睦と相互理解を計る。
- (3) 受け入れ交換学生、留学生と、インターアクトとの交流を図り親睦と理解を深める。
- (4) プログラム委員会と協力し、国際理解に関する催物を計画する。

業 績

- 8月25日(日)オリエンテーション出席

- 交換学生の受入れを実施 8月26日より

西クラブとして

- ◎ デボラ・アイス嬢 → ホストファミリー
永井会員宅へ → 純心高
- エリック・サドウィツ君 → 南RC → 中央高

ロータリー財団委員会報告

委員長 牧田健二

基本方針

R財団は、国際奉仕のプログラムとして国際ロータリーが直営する機構でロータリアンの篤志寄付を集めて財団をつくり、これを運用して奨学生や研究グループを交換し、世界国民間の理解と友好関係を増進することを目的としています。従って

- (1) R財団委員会活動の趣旨と現状を十分に理解すること。
- (2) R財団による奨学生を地域から発見し推薦すること。
- (3) クラブ区域内に留学している外国のR財団奨学生にいろいろと豊富な経験を積ませるために便宜をはかってやること。
- (4) R財団に対する財政的援助を増大するためにクラブはどのようにすればよいかを考え、実践することを基本方針とします。

計画

- (1) いろいろな機会を利用してR財団の情報を会員に伝達する。
- (2) R財団奨学生の推薦は、会員各位の地域内関係者へのPRに期待する。
- (3) 百万ドル食事差額を寄付金にあて（ミリオンダラー）、これを年間6回行なう。
- (4) 11月15日を含む財団週間には、R財団についての情報を伝達すると

共に、理解と実行を求め、財団ボックス（仮称）を設けて、全会員1ドル献金をお願いします。

- (5) 当クラブのR財団寄付金累計400%以上（現在300%、1974・3・31の現状はあと260,30\$で400%に達する）を目指したい。

業 績

- (1) 7月当初、R財団の情報を伝達した。
- (2) 7月18日百万ドル食事を実施した。
- (3) 7月19日R財団へ25万円の寄付を実施した。これでR財団寄付金累計は400%をオーバーしたことになる。

共に、理解と実行を求め、財団ボックス（仮称）を設けて、全会員1ドル献金をお願いします。

- (5) 当クラブのR財団寄付金累計400%以上（現在300%、1974・3・31の現状はあと260,30\$で400%に達する）を目指したい。

業 績

- (1) 7月当初、R財団の情報を伝達した。
- (2) 7月18日百万ドル食事を実施した。
- (3) 7月19日R財団へ25万円の寄付を実施した。これでR財団寄付金累計は400%をオーバーしたことになる。

附 表

昭 和 4 9 年 度 予 算 書

会 員 名 簿

充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 一 覧 表

(別 冊)

昭和49年度収支予算書

1974. 7 ~ 1975. 6

鹿児島西ロータリークラブ (No.1)

費 目		48年度 予算額	決算額	49年度 予算額	摘 要
収入の部	前年度繰越金	97,838	97,838	0	
	年会費	5,670,000	5,410,000	6,996,000	上期 44,000×79 下期 44,000×80
	雑誌代	106,920	102,300	104,940	上期 660×79 下期 660×80
	入会金	150,000	175,000	200,000	25,000×8
	ロータリー財団寄附金 (入会金)	15,900	19,150	22,160	2,770×8 (新入会員1人につき10ドル)
	ビジター会食費	700,000	693,700	800,000	800×1,000名
	雑収入	30,000	25,166	30,000	
	地区大会特別徴収金	1,106,000	1,010,500		
	合 計	7,876,658	7,533,654	8,153,100	
支出の部	人件費	641,000	721,000	796,000	事務員給料及び賞与
	退職給与引当金	32,000	32,000	40,000	年間給与× $\frac{5}{100}$
	通信費	100,000	79,905	130,000	郵便料・電話料
	事務用品費	20,000	156,358	30,000	事務用品一切
	印刷費	70,000	138,900	150,000	諸報告書等
	厚生福利費	40,000	11,635	50,000	諸保険料
	交通費	8,000	10,440	12,000	諸車代
	図書費	12,000	15,850	15,000	新聞代外
	借室料	72,000	72,000	72,000	6,000×12
小 計	995,000	1,238,088	1,295,000		

		費 目	48年度 予算額	決算額	49年度 予算額	摘 要
支 出	委 員 会 関 係	出 席	100,000	103,200	140,000	表彰記念品代
		会 員 選 考	1,000	0	1,000	
		会 員 増 強	1,000	0	1,000	
		職 業 分 類	20,000	49,400	70,000	
		親 睦	260,000	179,034	450,000	結婚・誕生記念品代
		プ ロ グ ラ ム	80,000	66,000	80,000	3,000円×25(卓話謝礼)外
		ロ ー タ リ ー 情 報	40,000	16,380	60,000	ガバナー月信・ロータリー手帳・文献
		広 報	5,000	0	20,000	
		会 報 雑 誌	200,000	205,300	250,000	ロータリーの友・週報印刷代
		職 業 奉 仕	30,000	13,875	40,000	
の	R I 関 係	社 会 奉 仕	140,000	127,000	200,000	
		青 少 年 奉 仕	300,000	199,340	400,000	
		園 際 奉 仕	450,000	312,500	550,000	交換学生受入分担金 5,000×79 外
		小 計	1,627,000	1,272,029	2,262,000	
		人 頭 分 担 金	171,720	166,620	215,260	1,108×75(上) 1,652×80(下)
		ロ ー タ リ ー 財 団 寄 附 金	106,000	128,900	132,960	277×80×6 (百万ドル食事差額)
		全 (入会時)	15,900	16,350	22,160	2,770×8
		米山記念奨学寄附金	121,500	114,750	116,250	750×75(上) 750×80(下)
		小 計	415,120	426,620	486,630	
		部	地 区 関 係	地 区 大 会	118,500	112,500
地 区 協 議 会	100,000			59,000	100,000	登録料・旅費・宿泊費
地 区 資 金	133,650			126,225	127,875	825×75(上) 825×80(下)
地 区 青 少 年 資 金	64,800			61,200	77,500	500×75(上) 175×80(下)

費 目		48年度 予 算 額	決 算 額	49年度 予 算 額	摘 要
地区 関 係	研究グループ交換資金	40,500	38,250	38,750	250×75(上) 250×80(下)
	ガバナー事務所補助金	28,000	26,775	27,125	175×75(上) 175×80(下)
	地区ガバナー特別協力金	130,350	130,350		
	地区大会特別分担金	1,106,000	1,103,500		
	小 計	1,721,800	1,657,800	489,750	
そ の 他	拡大事業費	100,000	40,244	100,000	
	会議費	10,000	20,900	15,000	地区大会・会長幹事会費
	会食費	2,400,000	2,413,043	3,000,000	
	雑費	130,000	61,680	150,000	ピアノ伴奏謝礼・慶弔金外
	備品費	60,000	33,250	100,000	
	地区大会準備資金繰入	200,000	200,000	200,000	
	基金特別負担金	50,000	50,000	50,000	
臨時支出	100,000	120,000			
	小 計	3,050,000	2,939,117	3,615,000	
予備費	67,738	0	4,720		
		7,876,658	7,533,654	8,153,100	

特 別 基 金 勘 定

前年度繰越	339,052	339,052	710,414	
基金特別負担金	30,000	35,000	40,000	5,000×8
一般会計より繰入	50,000	50,000	50,000	上期 25,000 下期 25,000
雑収入	10,000	286,362	10,000	
合 計	429,052	710,414	810,414	

ニ　コ　ニ　コ　寄　附　金　勘　定

費　　目		48年度 予　算　額	決　算　額	49年度 予　算　額	摘　　要
収 入	前　年　度　繰　越	438,176	438,176	628,185	
	寄　附　金　収　入	350,000	346,100	550,000	
	雑　　収　　入	10,000	14,652	10,000	
	小　　計	798,176	798,928	1,188,185	
支 出	寄　　　　附		170,743	200,000	
	小　　計		170,743	200,000	
合　　計			628,185	988,185	

特　別　準　備　金　勘　定

費　　目		48年度 予　算　額	決　算　額	49年度 予　算　額	摘　　要
収 入	前　年　度　繰　越	22,229	22,229	25,612	
	退　職　給　与　引　当　金	32,000	32,000	40,000	
	雑　　収　　入	1,000	1,383	0	
	小　　計	55,229	55,612	65,612	
支 出	二階堂京子退職金		30,000		
	小　　計		30,000		
合　　計			25,612	65,612	
収 入	前　年　度　繰　越	620,062	620,062	865,224	
	地　区　大　会　準　備　資　金	200,000	200,000	200,000	
	雑　　収　　入	15,000	45,162	0	
	合　　計	889,191	865,224	1,065,224	

会 員 名 簿

	会員氏名	職業分類	勤務先	役職名	郵便番号	勤務先場所	勤務先TEL	郵便番号	自宅住所	自宅TEL
A	安楽慶一郎	焼酎製造	安楽酒造(株)	代表取締役	890	宇宿町248-1 県酪農ビル内	55-7141	890	高麗町615	54-7811
	有田 郁男	建築材料配布	有田新建材(株)	社 長	890	上荒田町7-21	51-7414	890	上荒田町7-21	51-7414
	有村 良男	洋菓子製造	昭和製菓(株)	専務取締役	890	原良町1447	55-3131	890	原良町1444	55-3131
E	海老原利則	金物配布	(株)海老原利商店	代表取締役	892	錦江町1-4	24-1225	892	吉野町3216-30	43-1119
F	福田 敏之	民間放送	(株)南日本放送	専務取締役	890	高麗町5-25	54-7111	890	草牟田町4195	22-4586
	藤安 辰造	味噌製造	藤安醸造(株)	取締役社長	892	住吉町6-15	24-5151	892	住吉町6-20	22-4763
	福田 正臣	公立病院	鹿児島市立病院	循環器 内科部長	892	加治屋町20-17	24-2101	892	下竜尾町19-38	47-5161
H	林 幸光	シニア・アクチブ (洋薬)	鹿児島短期大学	教 授	890	永吉町450	55-1271	890	西田町58-6	55-2068
	浜田 馨	酒類配布	侍浜田酒店	取締役社長	890	高麗町30-14	51-1732	890	同 左	同 左
	外西 寿彦	産婦人科医	鹿児島市立病院	産婦人科 部 長	892	加治屋町20-17	24-2101	890	宇宿町1153-10	54-1514
	原 三郎	瓦斯供給	日本瓦斯(株)	常務取締役	890	武町501	55-1181	892	坂元町2277-49	47-1834
	平岡 禎吉	団 体 (社会教育)	財団法人喜界育英会		890	武町716	54-1855	890	武町962	54-1909
	I	岩元 健吉	シニア・アクチブ (製 綿)	カクイ(株)	取締役会長	890	郡元町927	54-2131	890	郡元町1172
岩元 正二		繊維品配布	山形屋商事(株)	社 長	892	御本町5-5	60-2701	890	高麗町143	54-5707
岩元 基		繊維サービス	カクイわた 鹿基準寝具(株)	常務取締役	890	宇宿町2505-1	51-4663	892	加治屋町15-15	22-4454
岩田 太一		シニア・アクチブ 和菓子製造	(株)明石屋菓子店	取締役社長	892	金生町4-16	26-0431	892	西千石町2-13	22-4734
池田 広		放射線科医	池田放射線診療所	医 師	890	上之園町18-13	52-8952	890	同 左	54-2491
池田 稔		食品加工	池田製菓(株)	専務取締役	890	上之園町19-27	54-1240	890	同 左	54-0035

	会員氏名	職業分類	勤務先	役職名	郵便番号	勤務先場所	勤務先TEL	郵便番号	自宅住所	自宅TEL
I	池口 恵観	仏 教	最 福 寺	開 教 師	890	紫原2-35-13	53-6440	890	同 左	同 左
	岩男 秀彦	倉 庫 業	薩 摩 倉 庫 ㈱	取締役社長	892	住吉町5-4	22-0385	892	長田町25-4	22-8018
	岩元 紀彦	相互銀行㈱	旭 相 互 銀 行	常務取締役	892	山下町1-1	26-1111	890	紫原5-47-13	51-8269
J	ジョーンズ ミッチェル	キリスト教	鹿児島ルーテル教会	宣 教 師	890	荒田1-36-39	54-4796	890	上荒田町18-11 武田マンション102号	53-9608
	城 哲男	医学教育	鹿児島大学医学部	教 授	890	宇宿町1208-1	56-2111	892	城山町2-30	24-5510
K	河井 時義	シニア・アクチブ (外科医)	河 井 外 科 院	院 長	890	高麗町29-17	52-6557	890	同 左	54-0775
	川村 洋	シニア・アクチブ (百貨店)	㈱ 山 形 屋	社 長	892	金生町3-1	24-6111	890	荒田2-73-9 鮎 川 ビ ル	55-2477
	川上鉄太郎	ホ テ ル (日本式)	城 山 観 光 ㈱	常務取締役	890	新照院町95	24-2211	890	伊敷町4269-421	29-8325
	久保 政次	ゴム製品配布	㈱ 久 保 利 商 店	取締役社長	892	名山町1-4	26-5150	892	大竜町4-16	47-4433
	久保田彦穂	シニア・アクチブ (文 芸)	鹿児島女子短期大学	教 授	890	紫原1-59-1	54-9191	892	長田町146	22-9318
	小山 幸義	ホ テ ル (洋 式)	㈱鹿児島ホテル鶴鳴館	取締役社長	892	城山町5-30	23-2241	892	同 左	同 左
	小池鉄太郎	シニア・アクチブ (洋 画)	鹿児島短期大学	教 授	890	永吉町450	55-1271	890	薬師町398	54-0896
	小園 正人	硝子配布	㈱小園硝子商会	取締役社長	891 -01	卸本町5-20	60-2345	892	吉野町9752	47-1787
	古木 圭介	観光事業	グローバルユースビューロー	常務取締役	892	東千石町13-18	22-2176	892	清水町31-4	47-2553
	川田 恵一	不動産鑑定	㈱川田不動産鑑定所	社 長	892	加治屋町1-4	22-0478	892	同 左	同 左
	木治屋克己	コンクリート 建 築	五十鈴建設㈱	専務取締役	892	長田町1-16	26-2326	892	吉野町2914-50	43-1511
	久我 康博	短期金融	富士銀行鹿児島支店	支 店 長	892	金生町7-25	26-0161	890	天保山町15-8	54-2304
	川畑 正美	給 水	旭設備工業㈱	社 長	890	荒田1-55-17	55-5131	890	紫原6-48-10	51-0845
M	牧田 健二	シニア・アクチブ (内科医)	牧 田 医 院	院 長	892	上本町2-5	22-0712	892	上本町2-5	23-3409
	光吉 正昭	請 負 業	小 牧 建 設 ㈱	常務取締役	892	西千石町2-35	25-2611	890	鴨池町471	55-7534

	会員氏名	職業分類	勤務先	役職名	郵便番号	勤務先場所	勤務先TEL	郵便番号	自宅住所	自宅TEL
M	三角桂次郎	石油配布	三角石油瓦斯(株)	専務取締役	892	卸本町7-20	60-2200	890	原良町1797	54-3980
	水洩清治	自動車部品製造	(株)水洩自動車電機サービス	取締役社長	890	郡元町2411	55-2291	890	下荒田町2293	54-0609
	前田好文	浄水装置製造	三和興業(株)	取締役社長	892	南林寺町26番2号	24-0981	890	下伊敷町685	23-2044
	三原一馬	地方金融	福岡銀行鹿児島支店	支店長	890	中央町15番23	53-1991	890	郡元3丁目13-21	52-1655
N	中村善治	セメント配布	(株)カンダ	専務取締役	892	住吉町1-3	24-5111	890	薬師町1374	54-6223
	鍋島宏	建築設計	竜栄建設(株)	常務取締役	892	錦江町3-20	26-0276	890	下伊敷町978-7	22-7577
	中村俊雄	自動車配布	トヨタカローラ鹿児島(株)	社長	890	東郡元町15-18	53-1000	890	武町157	54-6818
	永井利承	私立病院	永井外科医院	院長	890	常盤町941	52-2662	892	上竜尾町41-6	47-6632
	新原剛	自動車部品配布	鹿児島トヨタ自動車(株)	常務取締役	892	西千石町1-28	23-6161	892	鷹師町1丁目5-5	54-6319
	中尾正昭	装饰材料配布	(株)まからず屋造花店	取締役社長	892	金生町7-7	24-2244	892	同左	22-2312
	直居栄一	外国為替銀行	三井銀行鹿児島支店	支店長	892	金生町5-9	22-2111	890	薬師町32	54-0603
O	岡元健一郎	病院	鹿児島大学附属病院	教授	890	宇宿町1208-1	56-2211	892	宇宿町1120-8	52-3843
	岡山栄	会計士	岡山公認会計士事務所	所長	890	薬師町53	54-6141	890	同左	同左
S	桜美四郎	シニア・アクテブ(瓦斯供給)	桜ビルディング(株)	取締役社長	890	中央町20-4	51-2780	890	上之園町18-26	54-3227
	桜美義明	雑貨配布	桜物産(株)	社長	890	中央町20-4	51-2780	890	新屋敷町16 1303号	26-5320
	鮫島志芽太	シニア・アクテブ(単科大学)	鹿児島経済大学	講師	891-01	下福元町8850	68-3211	890	荒田1の32の6	54-3700
	佐伯延次郎	シニア・アクテブ(短期大学)	鹿児島県立短期大学	学長	890	下伊敷町104	20-1111	892	清水町11-19	47-2819
	柴山一雄	歯科医	柴山歯科医院	院長	892	山下町9-31	23-3835	892	同左	同左
	島津忠丸	シニア・アクテブ(土木建築)	島津土木工業(株)	常務取締役	892	吉野町磯9688	47-2111	892	清水町31-15	47-2774
	新福栄熊	シニア・アクテブ(自然科学)	鹿児島経済大学	教授	891-01	下福元町8850	68-3211	890	玉里町3465	22-2397

	会員氏名	職業分類	勤務先	役職名	郵便番号	勤務先場所	勤務先TEL	郵便番号	自宅住所	自宅TEL
S	下野 隆三	シニア・アクチブ (近海々運)	㈱ 共 進 組	常務取締役	892	易居町11-19	26-7115	890	原良町3135	54-9357
	坂口 洋右	書籍配布	㈱ 金 海 堂	社 長	892	東千石町17-1	23-6295	890	西田町82-8	51-1745
	佐伯 寿郎	自動車修理	トヨタオート鹿児島㈱	常務取締役	892	城南町8-19	26-7000	890	常盤町929	58-3423
	瀬戸山克己	下駄配布	瀬戸山履物㈱	社 長	892	大黒町3の6	26-1357	892	吉野町1395	43-5826
T	高井 敏治	砂糖配布	㈱ 高 井 商 店	社 長	892	泉町13-20	22-7111	892	加治屋町5-21	23-6453
	高 義朗	絹織物製造	㈱ た か し	取締役社長	892	南栄1丁目9	69-5505	890	同 左	
	田平 礼章	整形外科医	田平整形外科病院	副 院 長	892	加治屋町16-5	24-4721	892	加治屋町11-17	23-2852
	土橋 英夫	シニア・アクチブ (産婦人科医)	土 橋 病 院	院 長	890	西田1-16-1	54-0933	890	西田町1-16-2	52-3841
	塘 一郎	シニア・アクチブ (大 学)	鹿児島大学工学部	教 授	890	鴨池町52	54-7141	890	伊敷町1-2 伊敷栄門住宅2号	22-1442
	徳田 基	シニア・アクチブ (公証人)						892	照国町11-23	22-8754
	徳沢 紀生	道路建設	徳 沢 建 設 ㈱	社 長	890	上之園町16-4 徳沢ビル601号	53-3968	890	上之園町16-4 徳沢ビル602号	52-2581
	徳留 栄次	信用金庫	鹿児島相互信用 金 庫	常任監事	892	泉町2-3	23-5111	890	伊敷町326	23-2905
	徳家 孝	生命保険	日本生命相互会 鹿 支 社	支 社 長	890	中央町11	55-1101	890	荒田2丁目35	54-3498
U	内山 光男	理 髪 店	㈱ニューホワイト産業	社 長	890	中央町11-5	51-9246	890	中央町7-3	58-1592
	宇治野純章	弁 護 士	宇治野法律事務所	所 長	892	泉町14-4	23-0659	892	坂元町2374-31	47-1160
W	渡辺 匡	タクシー業	わたなべレストセンター	代表取締役	892	城山町1	24-1200	892	上竜尾町40-3	47-6824
	若松宇治彦	私立学校	鹿児島高等学校	校 長	890	薬師町383	55-3211	890	西千石町3 有馬マンション2階	22-4590
	和田 吉人	室内装飾	㈱ ダ イ ワ	取締役社長	892	加治屋町12	26-5381	892	加治屋町1-9	24-5381
Y	山本 友博	私立学校	鹿児島経済大学	教 授	891 -01	下福元町8850	68-3211	892	吉野町2631	43-1568
	山下 静雄	大 学	鹿児島大学教育学部	教 授	890	鴨池町251	54-7141	890	薬師町67	54-5216